



第3回水道 GLP 認定委員会（2月28日）

「横須賀市上下水道局施設部浄水課逸見水質試験所及び有馬水質担当」並びに「神奈川県企業庁水道局水質センター」の水道 GLP 認定について審議し、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第7回 ISO 審査登録センター・運営委員会（3月10日）

報告事項①前回委員会議事録、②平成17年度事業報告、③審査登録状況、④審査登録事業の収支、⑤JAB 認定審査の結果について、事務局より報告した。

次に、議題①内部監査・マネジメントレビュー、②平成18年度事業計画について審議し、了承された。

第139回水質試験方法等調査専門委員会（3月9日・10日）

東京都水道局研修・開発センター及び玉川水処理実験施設を視察した後、厚生労働省の柳橋水道水質管理官より最近の水道行政について説明を受けるとともに、質疑応答を行った。その後、今後の検討事項について、無機物部会、有機物部会、微生物・生物部会に分かれて審議した。

第214回衛生常設調査委員会（3月23日・24日）

東京都水道局研修・開発センター及び玉川水処理実験施設を視察した後、厚生労働省の柳橋水道水質管理官より最近の水道行政についての説明を受けるとともに、質疑応答を行った。次に、水道用汙材調査専門委員会からの水道用汙材規格の改正案及び水道用粒状活性炭の規格案について審議し、審議の結果、承認することとした。続いて、水質試験方法等調査専門委員会の進捗状況、水道用塗料等調査専門委員会の今後の審議内容の報告を受けた。また、事務局より水道 GLP 認定業務の進捗状況について説明した。



第153回工務常設調査委員会（3月23日）

委員会前に東京都水道局研修・開発センターを視察し、その後日本水道協会会議室に場所を移し会議を開催した。

審議事項等については、次のとおりである。

審議事項①第152回工務常設調査委員会議事録の確認、②水道用硬質塩化ビニル管の接着剤（JWWA S 101）の規格改正について、③水道用円形鉄蓋（JWWA B 132）等の規格改正の検討について、④水道用ポリウレタン被覆方法（JWWA K 151）等の規格改正の検討について審議し了承された。

続いて、報告事項①水道メーターのJIS化と計量法（省令）改正に伴う対応について、②水道メーターの国際相互認証協定（MAA）について、③水道事業ガイドラインの公表状況について、④水道水中におけるアスベストの存在状況調査結果、⑤水道 GLP 認定の状況等、⑥平成18年度配水管工技能講習会の開催予定について報告があった。



第17回 IWA 日本国内委員会（3月27日）

①第10回 IWA 会長会議（ロンドン）の概要について、京都大学教授の松井委員から報告があった後、②北京世界水会議の時に発行される「水道事業の国際的統計－2005－」について、現在、主要な水道事業体にデータ作成依頼中の旨、③5月シンガポールで開催される IWA 水道事業管理者会議について、日本からも口頭発表出来る水道事業体に出席要請する旨が事務局より報告した。

続いて、①IWA 北京世界会議時のワークショップ開催、②2012年の IWA 世界会議開催地の日本からの立候補、③IWA 副会長の立候補について審議した。ワークショップ開催については、申請が受理されたが、「Water Security」と共同開催となる旨報告された。2012年世界会議については、未だ引き受け都市が決まらないので、IWA から立候補依頼が出た時再度審議することとし、ひとまずアジア地域として立候補の意志を表明することとした。副会長への立候補については、次回の国内委員会で再度審議することになった。

第4回水道 GLP 認定委員会（3月28日）

「北九州市水道局浄水部水質試験所」及び「株式会社環境科学研究所」の水道 GLP 認定について審議し、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第3回水道事業における民間的経営手法の導入に関する調査研究委員会（総務省受託）

（3月30日）

議題「水道事業における民間的経営手法の導入に関する調査研究報告書（案）の検討」について審議し、概ね了承を得た。なお、細部における修正については、委員長に一任することに決定した。

第1回水道用塗料等調査専門委員会（4月13日）

事務局より日本水道協会規格の水道用塗料関係の規格改正に至る経緯について説明した後、水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 135）の衛生性についての審議した。

第597回 抄録委員会（4月14日）

はじめに委員長の承認について報告を行い、委員長に武蔵工業大学の長岡教授が就任した。続いて、本誌7月号に掲載する外国文献の抄録内容を審議した。